

会長挨拶

会長 山口和也

皆様こんにちは。

11月26日の理事会において、当クラブの委員会構成の一部見直しの協議がありました。今までは、副委員長には次年度の委員長が就くという慣例になっておりました。従って、大手企業の支店長会員の皆様は、転勤の可能性があるため副委員長に選任できなかったという面がありました。10月のガバナー公式訪問の際の会長幹事会で、当クラブの特長のひとつとして、会員の1/4を支店長会員が占めているとの話をしたところ、安間ガバナーより、「他地区でのロータリー経験もあり、非常に優秀な人材であるので、活躍の場を広げるように」とのご意見をいただきました。そのようなこともあり、副委員長の2人制を検討し、次年度の横山会長年度よりこの委員会構成で運営していくことが決まりましたのでご報告いたします。

さて、12月のロータリーの重点分野は「疾病予防と治療月間」です。今月のロータリーの友には、日本の、そして世界の活動が紹介されています。是非読んでください。

12月4日にアフガニスタンで銃撃され命を落とされた医師の中村哲さんは、「人がどうやって餓死するかというと、まず食べ物がまったくないわけではなく足りなくて栄養失調になる。そしてその飢えを紛らわすために不衛生な水をたくさん飲む。その結果、赤痢などの感染症に罹り脱水症状になる。そして死ぬ。これがアフガニスタンの飢餓の典型」と語っていました。「医療よりまず水だ」中村医師は小さな診療所の限界を感じ、医療活動を超えた支援に踏み切り、自ら陣頭指揮をして井戸を掘り始め、更には地下水路の修復も始めました。すると村人の病気が減り、赤痢などの感染症が激減したということです。偉大な功績のあった中村医師のご冥福をお祈りいたします。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- I. 真 実 か ど う か
- II. み ん な に 公 平 か
- III. 好 意 と 友 情 を 深 め る か
- IV. み ん な の た め に な る か ど う か



2019-2020年度 国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー氏 テーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」



RI 第2620地区 静岡第2グループ

沼津北 ロータリークラブ

テーマ

「ロータリーは地域をつなぐ」

WEEKLY
BULLETIN NO. 20<http://NNRC.e47.jp/>

会長 山口 和也 幹事 馬場 敏彦

事 務 所 〒410-0801 沼津市大手町1-2-1
フォーラム壹番館4F
TEL.055-963-1960 FAX.055-963-1970
E-mail:numazu-n-rc@coffee.ocn.ne.jp

例 会 場 〒410-0802 沼津市上土町100-1
沼津リバーサイドホテル
TEL.055-952-2411 FAX.055-952-2455

例会日時 毎週火曜日 12:30~13:30

プログラム

12月17日 夜間例会(忘年家族会)
12月24日 通常例会、理事会
12月31日 裁量休会
1月 7日 通常例会

クラブ会報委員会

委 員 長 橋 哲夫 副委員長 大嶽 健太郎
委 員 高梨 芳高 飯田 互 梨本 幸博
植松 恒裕
本号担当 梨本 幸博